

6 学習指導案

数学科（数学Ⅱ） 学習指導案					
日時	令和6年6月11日（火）第2時限		授業者	徳永 裕史	
年組	3年1組	教室	201教室	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）
単元	加法定理の応用		内容のまとめ	三角関数	
単元の目標	1 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解する。 2 日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 3 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする態度を養う。		指導計画	第2節 加法定理 1 加法定理・・・・・・・・・・3時間 2 加法定理の応用・・・・・・・・3時間 （本時はその3時間目）	
単元の評価規準	知識・技能	三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。			
	思考・判断・表現	日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。			

本時の指導

主題（教材）	見込む角の最大となる位置				
前時の課題	数学者の名前の付いた定理や問題について1人1つ調べ、ロイロノートに提出しておく。				
本時の目標	1 三角関数の定義や性質を考察し、処理の仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解く技能を身に付ける。 2 目標を達成するための思考過程を文章、図、数式で表現することができる。				
評価規準	1 三角関数の定義や性質を考察し、処理の仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解く技能を身に付けている。（知・技） 2 目標を達成するための思考過程を文章、図、数式で表現している。（思・判・表）				
指導過程	学習活動	時間(分)	指導上の留意事項	評価方法、資料等	
	導入	1 課題の確認を行う。 2 本時の目標を確認する。	5	・発言しやすい雰囲気をつくらせる。	・ロイロノート
	展開	1 問題1を考える。 『ラグビーのコンバージョンキックをする際、どの位置からけるのが最適か考えよ。』	10	・「見込む角」が最大となる場所が、ベストポジションだと捉えさせる。 ・問題をxy平面上で考えさせる。 ・図を書くことで、正接の加法定理の問題や方べきの定理の問題であることに気付かせる。	【評価方法（思・判・表）】 ○発表
	開	2 問題1を解く。 (1) 班別協議 (2) 発表	30	・周囲と協力して解かせる。 ・解法の選択肢を増やすことが大切であることを気付かせる。	・ワークシート 【評価方法（知・技）】 ○机間指導 【評価方法（思・判・表）】 ○発表
整理	本時の振り返りをする。	5	・活動の内容をまとめ、自己評価を行わせる。	・振り返りシート	
備考	I 類型（文系） 生徒数9名				